

干潟から学ぶ環境



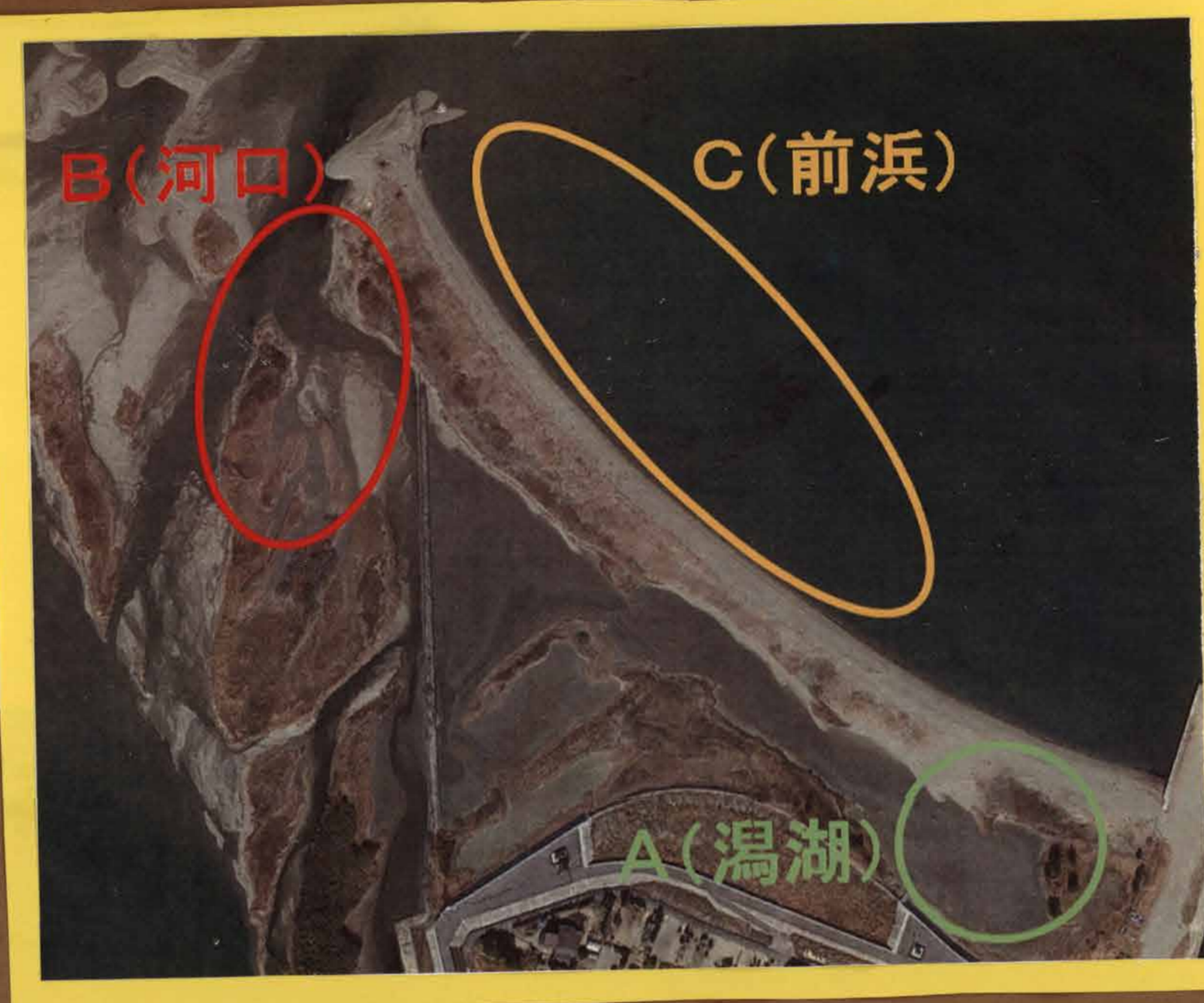
私達 科学技術部は、2011年から松名瀬干潟でウミナ類の分布調査を行っています。調査では、松名瀬干潟に調査地点を設定し、月に1度、それぞれの地点で生物を採集し、個体数を数えています。そして個体数をグラフにして考察し、松名瀬干潟の環境を観察しています。

学校・クラブ紹介

学校法人 梅村学園
三重中学校・高等学校 科学技術部

部員 32人
(2016年7月現在)

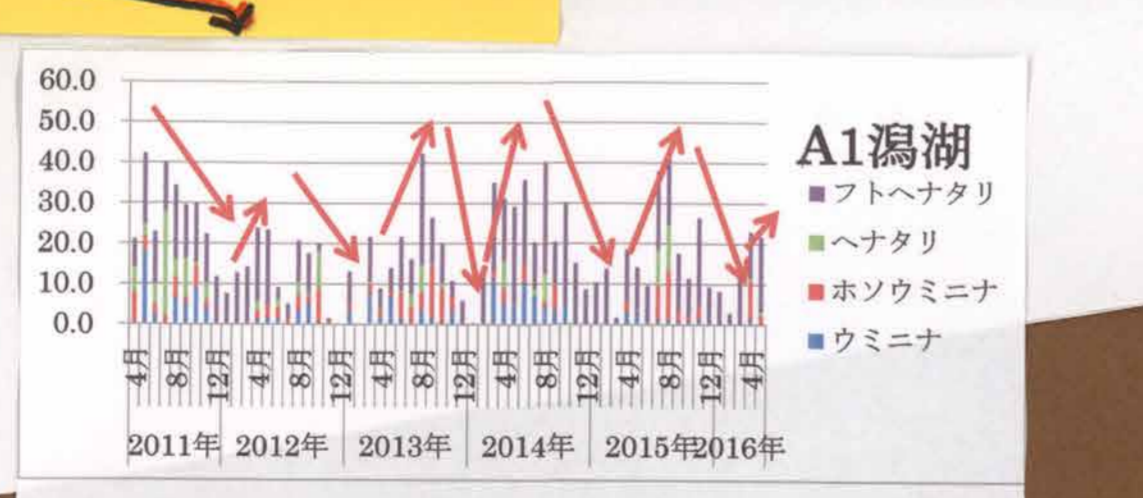
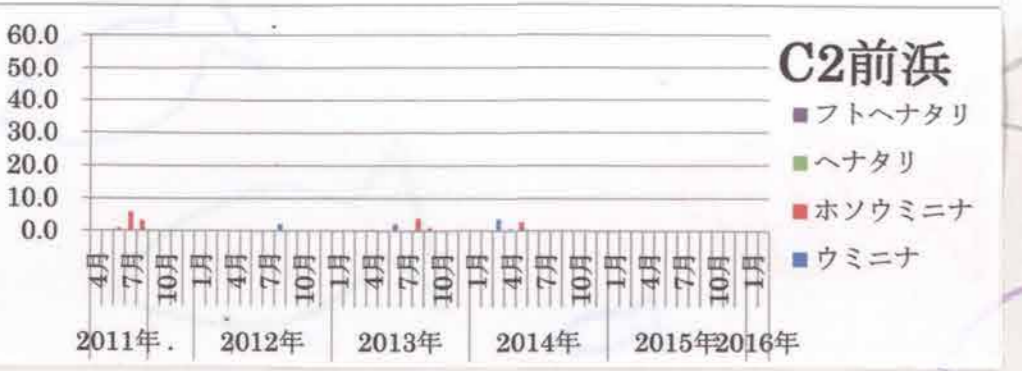
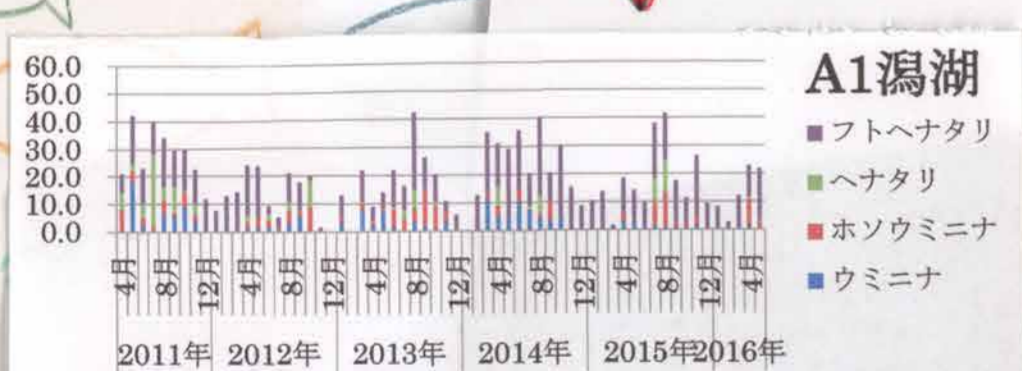
顧問 4人



2. 松名瀬干潟とは
川の河口付近にできる「河口干潟」、河口から少し離れた海に直接面したところにある「前浜干潟」、狭い開口部で河口と海につながった沼地の「潟湖干潟」の3つが全てそろっている。日本有数の干潟
様々な生物が生息している
重要湿地500に指定されている

3. 結果と考察

は、六年間のウミナ類の調査結果のグラフです。また、は結果グラフの考察です。



春～夏にかけて個体数が増え、秋～冬にかけて減る

冬にどこかに移動しているのでは？

現在、高校生で詳しく調査中



2012年2月の護岸工事

工事の前後で・・・
ホソウミナとヘナタリ→増
ウミナとフトヘナタリ→減

護岸工事で環境が変化

フトヘナタリは潮間帯（満潮の時と干潮の時の水位の間）の上の方の植生（植物の集団）のある所を好む（過去の研究から）

工事でフトヘナタリの好む環境が減ったのでは？

4. まとめ

このように、私たちは調査を通じて海岸の環境を考察、観察しています。それによって得られたデータをもとに、大切な松名瀬の生物と生態系を守っていきたくと思っています。そのためには生態系についてももっと良く知らなければいけません。なので、これから、調査を進めていきたいと思っています。



子どもエコクラブ壁新聞（平成28年度）

クラブ所在地
三重 都道府 松阪 区町村

クラブ名
学校法人 梅村学園
三重中学校・高等学校
科学技術部
Science & Technology Club

（全国事務局宛送付：記入しないでください） □幼児クラブの審査を希望（平成28年度/2016年度応募作品）